～ Kengikai Dayori ～

第67号 県議会だより

平成30年度広報・広聴委員会の委員

【今回は6つの常任委員会の活動を紹介します】

常任委員会は、議案や請願について詳しく審査する機関です。その審査結果は、本会議での採決の際に重要な判断材料となるため、現地調査など、所管事項について認識を深める活動を行っています。今後も現場の状況を十分に把握し、県政に生かしていくよう努めてまいります。

総務常任委員会

総務常任委員会は、行財政の運営、総合的な企画調整、私学・高等教育、税務、広報、市町村行政、地域振興、交通政策、情報化、統計、危機管理などについて所管しています。

4月24日に開催した常任委員会では、山形空港の利用状況、住宅宿泊事業法に基づく条例制定の考え方、県戦略的広報の進め方、山形市の中核市移行に向けた県の取組みなどについて質問が行われました。

今後も、県民の皆さんの声を広くお聴きしながら、県の発展と県民生活の向上のため、活発な議論を重ねていきます。

総務常任委員会の委員

文教公安常任委員会

文教公安常任委員会は、学校教育、社会教育の振興及び警察行政について所管しています。

4月24日に開催した常任委員会では、公立高等学校及び県立中学校の入学者選抜における採点ミスに関し、その経過と今後の対応などについて質問が行われるとともに、原因究明と再発防止の徹底が求められました。また、春の交通安全県民運動期間中の事故状況と事故防止に向けた今後の取組みなどについて質問が行われました。

今後も、県民の皆さんの声をお聴きしながら、学校教育の向上と安全な県民生活の確保に向け、議論を重ねていきます。

文教公安常任委員会の審査の様子

厚生環境常任委員会

厚生環境常任委員会は、県民生活に関わる子育て支援や保健、医療、福祉、エネルギー政策、環境保全などについて所管しています。

4月24日に開催した常任委員会では、医薬品の残薬・多剤の解消対策、山形県の特徴を踏まえた自殺対策、イノシシ等の捕獲・生育状況や捕獲のための人材育成の取組み、保育教諭の資格取得に対する支援などについて質問が行われました。

今後も、県民の皆さんの声を広くお聴きしながら、より良い生活環境を整えるために、活発に議論を重ねていきます。

厚生環境常任委員会の委員

農林水産常任委員会

農林水産常任委員会は、農業、林業及び水産業の振興について所管しています。

5月21日～23日の現地調査では、山形大学東北創生研究所など産学官3者による金山町での落花生の新産地形成を目指す試験栽培や、県など産学官6者による遊佐町漁村センターでのサクラマスの陸上養殖試験などについて調査しました。

また、温海町森林組合では、高性能林業機械を導入した木材の生産現場について、山形県水産試験場では、新造する漁業試験調査船「最上丸」の運用について調査しました。

農林水産常任委員会の現地調査の様子

商工労働観光常任委員会

商工労働観光常任委員会は、中小企業などの商工業、観光及び文化の振興、雇用対策、国際化に関する施策、県民活動、プロスポーツの支援などについて所管しています。

5月23日～25日の現地調査では、4月にオープンした道の駅米沢のほか、高い技術力を持ち地域産業を牽引するものづくり企業、南陽市内のワイナリーなどを調査しました。

また、天童温泉の旅館が中心となり設立されたDMC(地域旅行会社)の皆さんと、地域の魅力を掘り起こし、商品化・発信・販売につなげる取組みについて、活発な意見交換を行いました。

商工労働観光常任委員会の現地調査の様子

建設常任委員会

建設常任委員会は、県民の暮らしや産業の基盤となる県土づくり、発電や広域水道の事業などについて所管しています。

4月24日に開催した常任委員会では、県管理道路における冬期閉鎖区間の解除の進め方、散水消雪に係る電気料金の負担軽減に向けた取組み、凍上災の災害復旧事業の採択見通し等のほか、道の駅の整備手法と施設のあり方、空港の滑走路延伸に向けた調査の予定等について質問を行いました。

今後も、県民の皆さんの声を広くお聴きしながら、よりよい県土整備のため、活発な議論を重ねていきます。

建設常任委員会の審査の様子

生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

県議会では、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを踏まえ、高校生をはじめとした若い方々に県議会を身近に感じてもらうため、生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催しています。

右写真は、5月15日の日本大学山形高等学校生徒との意見交換会の様子です。

※詳細は県議会HPからご覧いただけます。

県議会ホームページをぜひご覧ください

問い合わせ◎編集発行
山形県議会事務局議事調査課
☎023-630-2845
山形県議会 検索